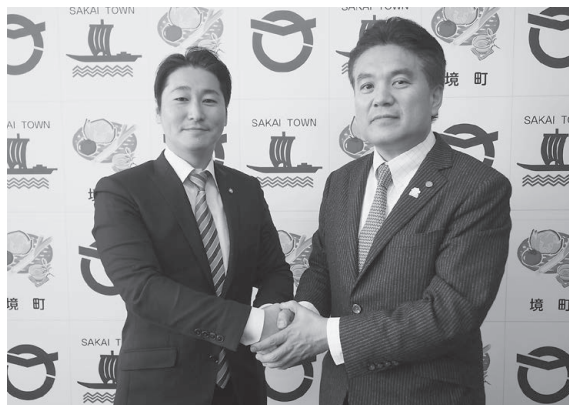


橋本境町長、國井茨城会会長による対談

平成27年4月6日(月)、茨城県境町の役場町長応接室にて、橋本正裕町長と本会の國井豊会長による対談が行われました。橋本町長は、昨年3月、38歳(当時県内最年少)の若さで町長に就任され、企業誘致等を積極的に行いながら、「若い人たちが帰郷し働けるまち」「三代で安心して暮らせるまち」を創るために奮闘しておられます。新井副会長、増戸市民法務部長、遠藤広報・監察部長も同席し、要望活動も行いました。今後の行政書士会との連携についてもゆっくり話し合い、有意義な意見交換となりました。



國井 本日は公務ご多忙中にも関わらず、このような対談の機会を設けていただきまして、本当にありがとうございます。また、町長には昨年、今年と本会の新春交流会にご参加いただきまして、心より感謝申し上げます。また、今年は地元の萩原酒造さんの名酒をたくさんご寄贈いただきました。参加者からは喜びの声が挙がっております。

市長 こちらこそ、大変お世話になっております。また、國井会長さんをはじめ、茨城県行政書士会の皆様には日頃から本町の行政運営にご理解とご協力を賜っていることに、改めて心より御礼を申し上げたいと思います。

國井 ありがとうございます。さて、私達行政書士は、「官公署に提出する書類、権利義務に関する書類及び事実証明に関する書類を作成すること」や「これらの書類の提出手続き」、さらに「これらの書類について相談に応ずること」を



業務としております。その他、町民の皆様の生活に身近な、相続、遺言に関する書類の作成や、各種契約、国籍、会社設立など幅広い各種手続きにも携わっております。

そのため、茨城会では会員のスキルアップを目指すため、各業務部が時宜に合わせた法令や業務の研修を継続的に開催しており、町民の皆さんの期待に応えるべく研鑽を積み重ねております。

このように行政書士は町民に身近な「街の法律家」として活動していますが、ここで、町長から行政書士の社会的役割や行政書士への期待などについてお話いただければと思います。よろしく願いいたします。

● 行政書士の社会的役割や行政書士への期待

市長 行政機関では、今まで以上に迅速かつ的確な対応、更には申請者の軽減負担などが求められています。そうした中、住民の権利や利益を保護しながら、行政を効率的に進めていくためには、住民と行政をつなぐ行政書士の果たす役割はますます重要になるものと考えています。

行政書士が官公署に提出する書類等を正確・迅速に作ることにより、住民の生活上の諸権利・諸利益が守

られ、また行政においても提出された書類が正確・明瞭に記載されていることにより、効率的な処理が確保されるという公共的利益があることから、行政書士制度の必要性は極めて高いと思います。

行政書士の皆様は、依頼された通りの書類作成を行ういわゆる代書業務から、複雑多様なコンサルティングを含む許認可手続きの業務へと移行してきており、高度情報通信社会における行政手続きの専門家として大きく期待されています。その住民からの期待にしっかりと応えていくためにも、絶えず研鑽に励む必要があると思います。

茨城県行政書士会においては、各種法令に関する研修により、会員の実務能力の向上に努められるとともに、新たな分野にも積極的に取り組まれており、大変心強く感じています。

国井 ありがとうございます。今、町長からお話を伺い、さらに取り組みを強化しなければならないと感じました。

茨城会は会員数が1,100名を超え、県内全域旧市町村すべてに在籍しております。各支部では各市町村における無料相談会の実施や、「災害時における支援協力に関する協定」の締結を通して、住民に一番身近な行政である市町村との連携を進めております。

そのため、私たち行政書士も、その立ち位置から、境町の施策について理解していきたいと考えます。境町の重点的施策についてお聞かせいただきたいと思います。

● 境町重点施策の紹介

市長 私も昨年3月3日に就任し1年が過ぎ、現在、町政を一つの企業経営と考え、クックパッドと提携した学校給食メニューの開発など、さまざまな企業との連携や先進地視察を実施しながら、自由な発想と新しい感覚を持って変革を行っています。

本年3月29日には圏央道久喜白岡



JCT～境古河IC間が開通しました。圏央道の開通は、重要課題である人口減少と雇用創出の問題への対応策、すなわち境町の発展に大きな可能性が広がったと捉えています。圏央道の開通は都心に匹敵するほどの利便性の向上が考えられ、隣接市町等と連携しながら県西地域全体の発展をめざしていきたいと考えています。

私は就任直後から、境古河IC周辺開発と企業誘致に積極的に取り組んでおり、すでに、さまざまな業態から多数の問い合わせが来ています。日野自動車(株)古河工場の稼働もビッグチャンスと捉えています。関連企業の従業員等を合わせると、およそ8,000人が古河工場に移ると考えられ、多くの人々が境町に移り住んでいただけるように、完成済みの240戸が入居可能な独身寮に加え、12世帯向けのアパートも3月末に完成しましたが、更なる住居の確保に努めていきます。

今年度から、町外から転入した子育て世帯が1年以内に住宅を取得した場合に50万円の奨励金を交付する、子育て世帯等定住促進奨励金事業も展開しながら人口の増加を目指しています。

更には、教育や子育ての施策を充実させるために、中央公民館図書室リニューアル事業と児童クラブ施設建設事業により児童が健やかに成長できる環境を整備し、モデル事業ですが学校図書館支援員設置事業として、図書の貸出・整備、児童・生徒の読書活動の増進を図るために、町

内小中学校の各一校に学校図書館支援員を配置します。この他、街路灯のLED照明導入促進事業やサッカー場の人工芝生化および夜間照明を整備する地域スポーツ整備事業に取り組みます。

また、地元の消費拡大や地域経済活性化のためのプレミアム付き商品券の発行を行い、新たな財源確保策としては、新設した茨城さかいソーラー株式会社やふるさと納税推進事業を更に充実させます。このふるさと納税は、平成26年10月より、返礼品の充実と申し込みや決済方法の仕組みを変えた結果、平成25年度の6.5万円から3,000万円を超える寄付金があり、今後の更なる増加に期待しています。

これからも新しい可能性を模索しながら、境町の発展のために、良いものはなんでも取り入れた施策を推しすすめていきます。

國井 ありがとうございます。私たちも、町の施策がスムーズに運営されるために出来る限り協力させていただきます。そして、町民の利便に資するための「日常的な無料相談会の開催」や、「災害時協力協定の締結」など、茨城会とさらなる連携をお願いしたいと存じます。

また昨今、行政書士でない者が官公署に提出する書類の作成を業務として行う事例が散見されています。これは、法律で定めのある場合を除いて禁じられておりますので、行政におかれましても、このような事件が再び起きることのないよう、適正な事務をお願いしたいと思います。非行政書士の排



除は、私たちの職域を守るためだけでなく、町民の権利を擁護し、不利益を被らないようにするため、非常に大切な活動になっています。

● 上記要望に対する ご回答・最後の挨拶

市長 そうした行政書士会の活動は、行政書士会のさらなる発展のためにも大変意義のあるものと思います。町としても、引き続き行政書士法をはじめとする法令順守に努めていきたいと考えています。

行政書士会の皆様には、町民の生活上の権利や利益を守ることなどで、地域のサポート役を担っていただけたらと思っています。行政書士の活動の場は、さらに拡大していくと思います。今後も一層の御活躍を期待し、活躍の場を広げていただければと思っています。

國井 ありがとうございます。私たちも、町民の権利を擁護し、地域の皆さんのお役に立てる行政書士として、さらに精進していきたいと思います。本日は大変お忙しいところ、どうもありがとうございました。

橋本正裕町長プロフィール

生年月日／昭和50年12月20日

学 歴／茨城県立古河第三高等学校卒業

芝浦工業大学工学部
建築工学科卒業

明治大学大学院
ガバナンス研究科修了

職 歴／平成11年4月
境町役場奉職

平成15年8月
境町議会議員に当選

平成23年6月
境町議会議長就任

平成26年3月
境町長に当選・就任
(現在、1期目)